



高橋 博幸

湯沢温泉 ロープウェイを どうするの？

べきで、できるだけ早い時期が望ましいと考えている。

「このような状況は、本

大丈夫、という簡単な問題ではない。
相手が判らないとどうしようもないので、具体的に1社に絞って検討をしてきたが、企業運営委員会に話もなく、議会側にも十分な説明はない。

少なくとも町民に疑惑を

管化に向けてやるというところまでは、きちんとやっていきたい。
職員の処遇については、当然一番の問題であり、慎重にこれから検討する。

少なくとも現在の検討の中

質問
観光事業検討会の検討状況と展望を伺う。

町長答弁

民営化した方が将来展望はあると思っている。

公営施設の民営化・委託は民間事業者には「ハコモノ再生ビジネス」になるので、公正なルールの中で行なうべきである。

当は情報の公開性・透明性・公平性・行政サービスの効率性という意味で、非常に大きな問題を言っている。

1社ありきでなく、もう少しウイングを広げた中で考えるべきで、町長は12月9日で退任するならば、「タガ」ははめず、判断は新しいリーダーがすべきだ。

公務員という縛りの中では民間に移行した方が将来の発展はあると考える。

グリーンピア土佐横波を再生した深田さんは著書の中で公正なルール、ハコモノの問題点について述べている。

「このように状況は、本

また性急ではなく、もっと広く、また性急ではなく、もっと新しくリーダーに委ねるべきということだが、後始末はきちんとしなければならぬので、議員からも賛同がいただける相手先を決めて、基本的な合意、湯沢町とその相手先がやはり民

有償貸付方式で相手方と契約したほうが良いと考えている。

「今までもハコモノビジネス

現実には他社でも「やらせてくれ」というものもある。

また性急ではなく、もっと新しくリーダーに委ねるべきということだが、後始末はきちんとしなければならぬので、議員からも賛同がいただける相手先を決めて、基本的な合意、湯沢町とその相手先がやはり民

企業運営委員会に現在話をしている状況下にならないため開催していない。

「今までもハコモノビジネスをして

将来的には民営化に反対はしないが、現在の検討では職員の処遇、起債に関する問題がないがしろになっている。

また性急ではなく、もっと新しくリーダーに委ねるべきということだが、後始末はきちんとしなければならぬので、議員からも賛同がいただける相手先を決めて、基本的な合意、湯沢町とその相手先がやはり民

9月末日に質問していた項目に対する解答が相手先から来るので、可能であれば議会の委員会等、企業運営委員会、全員議会の中で一つの方向を出し、湯沢町と相手先との基本的な合意をし、方向性を出していく

「今までもハコモノビジネスをして

将来的には民営化に反対はしないが、現在の検討では職員の処遇、起債に関する問題がないがしろになっている。

また性急ではなく、もっと新しくリーダーに委ねるべきということだが、後始末はきちんとしなければならぬので、議員からも賛同がいただける相手先を決めて、基本的な合意、湯沢町とその相手先がやはり民



快速で賑わう湯沢温泉ロープウェイ